

県会議員 奥村のり子 の
読者ニュース



2014年4月20日 第127号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
☎&FAX 073-427-7121
Eメール w:jcpken@naxnet.or.jp

制度の大改悪です
「医療・介護総合法案」

国の予算減らし
地方へ丸投げ！

県は安心して暮せる福祉社会の構築を
かけています。今年度の新政策としては、
有料老人ホームや家事代行などの高齢者
向けサービスを提供する民間事業者を誘
致するため、商工観光労働部企業立地課
内に「福祉産業立地室」を新設しました。
部署の設置は全国初です。県内の豊かな自
然や多くの温泉地を生かした、リゾート
風の介護サービス付きマンションや老人ホ
ームの建設需要が見込めると判断していま
す。

現在特別養護老人ホームの待機者は27
00人で、増床計画があるもの
のわずかです。また、軽費老人
ホームも名ばかりで国民年金
だけでは入所困難です。
県は産業政策として福祉を
考えていますがまずは自治体
の役割として県民の福祉の向上
を図ることを優先し、誰もが
安心して暮せる福祉社会をめ

身近な議員でいてほしい
奥村のり子先生には、月に一度お会い
する機会があります。いつもニコニコと笑
顔が絶えず、やわらかい話口調で、笑い
を交えながら社会情勢や身近なお話を
聞かせて頂きます。お忙しいと思いますが、
これからもこのような機会をもち、
私たちの声を届けてくれる身近な議員さ
んでいて下さい。(介護福祉士・Kさん)

「のり子さん頑張れ」読者の声(1)

来年4月の県議選予定候補の6名が春爛漫の
中、勢ぞろいした一瞬です。紹介します。()内
の選挙区の次の○数字は定数です。写真左か
ら、高田由一(現・50歳、西牟婁郡区②)、雑賀
光夫(現・69歳、海南市・海草郡区③)、富岡清
彦(新・65歳、橋本市区③)、加藤直人(新・57
歳、和歌山市区⑬)、奥村規子(現・62歳、和歌
山市区同)、松坂英樹(現・53歳、有田郡区②)
です。6人の共産党県議団めざし頑張ります！

定数42で現有4人の議席占有率は9.5%で
すが、6人になれば14.3%へ前進し、6つの常任委
員会すべてに委員を配置できます。全県の心一
つに勝利へ頑張りますので、今からいろいろと大
きなご支援をお願いいたします。(編集室)

県議4現職と2新人勢揃い
すべての常任委員会に
党議員を必ず！



のり子の週間日誌(主なもの)

- 4月18日 市駅前早朝宣伝、地域訪問(西)、高島
屋閉店問題アンケート、演劇鑑賞会
- 19日 休み
- 20日 海南市議選告示・応援
- 21日 地域訪問(河北)、「大運動」総会、会議
- 22日 休み
- 23日 地域訪問(河西)、学習会
- 24日 生活相談、海南市議選、南海電鉄支社懇談

党市医療・福祉
対策部長

坂口 多美子



病院追い出し、介護取り上げ、特養は入所制限

町村へ丸投げとなります。さら
に、特別養護老人ホームは、いま
全国で待機者が52万人もいる
のに入所対象者を「要介護3」以
上に制限するというのです。こ
いつた改悪が行われると病院から
は早くに退院を迫られ、介護施
設には入れず、家でも十分な介
護が受けられないといった状況に
追いいられます。
安心して医療や介護を受けて
暮らすことを願う高齢者や家族
の切実な願いに逆らうもので絶
対にゆるすことができません。
すぐにも撤回して安心の医療・
介護の立て直しと充実にむけた
制度をつくるべきだと思います。
本当に腹の立つ法案で「ひとりひ
とりのいのちが大切にされる」社
会にするためにがんばっていか
うという闘志がメラメラとわい
てきます。

医療・介護の大改悪へ

私は17年間看護師として働
いてきましたが、この間医療制度
の改悪がくり返し行われ、患者
さんがどんどん病院にかかりに
くくなっている現状を苦しい思
いでみてきました。

こういった状況にも関わらず、
政府はさらに「医療・介護総合法
案」という改悪法案を押し進め
ようとしています。病院ではベッ
ド数が大幅に減らされ、病院か
ら在宅へという流れを強制的に
つくろうとしています。家に帰っ
ても安心してできません。介護の
分野では介護保険はじまって以
来の大改悪が行われようとして
います。「要支援」と認定され
た方は介護保険から切り離され

リレートーク

Relay talk

リレートーク